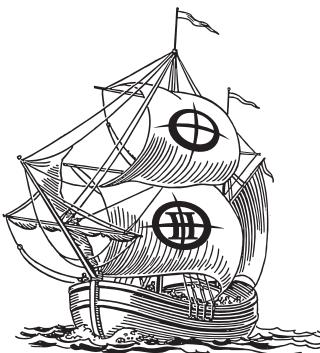


# 航海日誌

2016年  
11月 No. 133



## 高次脳機能障害・中途障害の方たちの 生きがいづくりの場、社会参加の場

### 工房「羅針盤」

〒560-0052 豊中市春日町3-1-41

TEL : 06 (6152) 4770

FAX : 06 (6152) 4771

E-mail : [rasinban@ceres.ocn.ne.jp](mailto:rasinban@ceres.ocn.ne.jp)

URL : <http://koubou-rashinban.com>

### 第2工房「羅針盤」

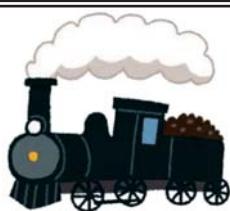
〒561-0808 豊中市原田元町2-25-21

TEL : 06 (4865) 5525

FAX : 06 (4865) 5526

E-mail : [rasinban1@vanilla.ocn.ne.jp](mailto:rasinban1@vanilla.ocn.ne.jp)

URL : <http://koubou-rashinban.com>



## 秋の社会見学



### IN 京都鉄道博物館

今年の秋の社会見学は既にじよ  
うかと思案していたのですが、利用者さん  
から京都鉄道博物館はどうかと新聞  
の切り抜きを渡されました。今年の春  
にグランドオープンし、なんと初日に  
は1万4千人が来場した大人気の博  
物館のこと。行くなり「今でしょ」と  
言わんばかりの勢いで行き先は決  
定しました。

車窓から流れる京都の景色にはす  
でに秋の雰囲気が宿りつつあります  
た。「京都の建物は低くてお寺が目立  
つな」と、京都にまつわる話題で会  
話が盛り上がるなか、少し早めの昼食  
をいただき、メインの鉄道博物館に向  
かいます。



第2工房「羅針盤」天野

ーゼルとか、イスのクッションには  
バネ式とエアー式があるとか、案内の  
職員顔負けのコメント連発で、自然と  
見学でした。思い出トークをのせた列  
車は、今も走り続けています。

高次脳機能障害の方のためのグループホーム設立にご協力いただき、ありがとうございました。

## 梅花高校文化祭



今年も梅花女子高等学校の文化祭に参加させていただきました。学園の中と周りは賑わっていて、クラスで揃えたTシャツや出し物の恰好をした学生さんたちのかわいい呼び込みや宣伝の声が飛び交っています。来場者もチラシを片手にわくわくした表情でいろんな店を周って楽しんでいました。

そんな中、羅針盤は校門近くの場所で販売させていただき、私が参加した土曜日は気温が高めで汗ばむくらいでしたが、天気も良くて文化祭日和でした。人通りも多く、商品の準備中から興味を持つてくれる人もたくさんいて製菓を中心売り上げを伸ばしました。お客様の中には羅針盤を知ってくれている人もいて製菓の感想を教えてくれました。幅広い年代の方がお越しになられていました。



2日間出店させていただきました

そんな中、羅針盤は校門近くの場所で販売させていただき、私が参加した土曜日は気温が高めで汗ばむくらいでしたが、天気も良くて文化祭日和でした。人通りが多く、商品の準備中から興味を持つてくれる人もたくさんいて製菓を中心売り上げを伸ばしました。お客様の中には羅針盤を知ってくれている人もいて製菓の感想を教えてくれました。幅広い年代の方がお越しになられていました。

そんな中、羅針盤は校門近くの場所で販売させていただき、私が参加した土曜日は気温が高めで汗ばむくらいでしたが、天気も良くて文化祭日和でした。人通りも多く、商品の準備中から興味を持つてくれる人もたくさんいて製菓を中心売り上げを伸ばしました。お客様の中には羅針盤を知ってくれている人もいて製菓の感想を教えてくれました。幅広い年代の方がお越しになられていました。

の月10日、豊中エトレ内にある国際交流センターで国際交流フェスタがおこなわれ、職員2名で参加してきました。さまざまな国の料理や雑貨、福祉作業所の物品販売がありました。

じとも向けの茶道体験コー

ナーや地域の方の活動紹介などの場も設けられしており、会場は大勢の人で賑わっていました。

国際交流とあるだけに、外國の方が日本らしい商品を探している姿が多くありました。いつもと違う雰囲気のバザーでした。

「家計を支える為に働いている妻の収入を加味され決まる利用料1割負担を無くして欲しい、作業所に行きたくてもお金がかかる事で家族に申し訳ない気持ちになる…」9月29日に障害児者を守る豊中連絡協議会が毎年取り組んでいる豊中市との懇談会に利用者と一緒に参加をしました。

## 第2回 国際交流つエベク



「針盤」の商品が広がっていくと思うとともにうれしく感じました。

## 豊中市との懇談会



お子さんへの商品を選ばれています

「家計を支える為に働いている妻の収入を加味され決まる利用料1割負担を無くして欲しい、作業所に行きたくてもお金がかかる事で家庭に申し訳ない気持ちになる…」9月29日に障害児者を守る豊中連絡協議会が毎年取り組んでいる豊中市との懇談会に利用者と一緒に参加をしました。

羅針盤からは広く中途障害者の方に通じる内容を取り上げ、利用者の方から維持期におけるリハビリ環境の整備やグループホームについての要望もされました。その他会場からは様々な要望項目から当事者・ご家族や関係者から切実な訴えをされていました。

回答書が出されての懇談会ではあります、利用者（市民）の切実な声・実態を聞いて頂き、また伝えられる場として、そして更には少しでも要望改善となるように今後も参加をしていきたいと思います。

工房「羅針盤」小林

工房「羅針盤」小林

誕生日会を盛り上げていただけるボランティアさん募集中！



工房「羅針盤」 荒内

屋外でのイベントのため雨を心配していましたが、天候にも恵まれました。田中さん、高島さんからは、「教える事は難しいけれど達成感につながり楽しかった!」と伺いました。嬉しさひと言と、頼もしい協力に感謝します。

11月5日におこなうイベントでもお世話になっている千里キャンドルロードさんから、お声掛けをいただきました。活気のあるイベントに参加することができ販売方法なども参考になりました!製品の質や見せ方も話し合う機会をつくりたいと思います。

イベント参加利用者さん  
感想「一十」

今回の参加者は職員の牧さん、三成さん、そして利用者の高島さん、その娘さんとそして私の5人である。20軒程の出店が出て、ステージでの催し物もあり、当然ハロウィンならではのコスプレもあり、地域のお祭りとしてはなかなか盛り上がりのある、ノリの良い地域住民が沢山いたイベントだった。かくゆう私もフェイスペイントなるものに挑戦、普段ならそんなこと見向きもしない私が…チャンスがあればまた参加してはいけたいと思う。

キャンドル班 田中利宜

最近何かと耳にするようになった「ボタニカル」という言葉。本来の「植物の」という意味から派生し、「生活に植物を取り入れた空間」といったライフスタイルが人気なのだと。

第2工房「羅針盤」では、緑化推進委員会（仮称）を発足し、緑ある作業所づくりを目指しています。駐車スペースの雑草抜きからはじめ、徐々に植物を増やしていく計画です。



## #N樂広場でキッズキャンドル教室 10月22日(土)～出張キャンドル教室～

### イベント参加利用者さん 感想「一十一」



今回の参加者は職員の牧さん、三成さん、そして利用者の高島さん、その娘さんとそして私の5人である。20軒程の出店が出て、ステージでの催し物もあり、当然ハロウィンならではのコスプレもあり、地域のお祭りとしてはなかなか盛り上がりのある、ノリの良い地域住民が沢山いたイベントだった。かくゆう私もフェイスペイントなるものに挑戦、普段ならそんなこと見向きもしない私が…チャンスがあればまた参加してはいけたいと思う。



色とりどりのパンジーをちりばめて

### 第2羅針盤、 緑化計画進行中!



室内には、「ムの木などの観葉植物やセダムなどの多肉植物を。エントランスには、利用者と選んだ苗を植え込んだプランターがお出迎え。木工班で作製したプランター

バーが株元を引き締めます。植物を育てることは手間のかかる作業ではありますが、大きく育つたり、花が咲いた時の喜びはひとしおです。

福祉の活動も同じで、地道に継続していくことで地域に根を張り、そして実を結んでいくのではないでしょうか。

### 第2工房「羅針盤」高瀬

根を張り、そして実を結んでいくのではないでしょうか。



近年ブームの多肉植物を寄せ植えに

# 自主製品紹介

# 黒糖 くるみ

**HAND MADE**  
～手作り～

**黒糖くるみケーキ**

北海道100%小麦と  
上白糖を使わずに黒糖  
のみを使い仕上げました。  
見た目は地味なケーキだが  
黒糖のふくよかな香りがし  
口に入れば黒糖のコクが  
引き立ちます。

**黒糖&くるみ**

工房「羅針盤」

# くるみ ブレッドケーキ 400円

お問い合わせは 06-6152-4770 工房「羅針盤」までお願いいたします。

やっと暑い夏も過ぎ、毎日過ごしやすい季節となりました。私は春や秋などの気候が穏やかな時期にサイクリングに挑戦して汗を流している。サイクリングと言つても自転車を買うとすぐに盗まれるので、主に駅前のレンタサイクルを利用している。今年の春には大阪市内へ行き、昔ながらの「渡船」巡りをしてきた▼ 渡船は、大正区を中心に現在8カ所で運航している。大阪は昔から水の都と言われ河川が多いし、船の往来も多い。時じき大型船も通るので橋が架けにくい。もともと大正区は埋め立て地で周囲のほとんどを水に囲まれているため、渡船は日常生活を送る上で欠かすことができない「道」なのです。だから自転車ごと乗船でき、しかも無料。定員はいちいち覚えていないが、大人が20人ぐらい乗ればいっぱいになりそうな小さな船である。どの渡船も乗船時間は長くて5分。川の両岸をのどかに往復するその姿は、時間が巻き戻ったような感覚に陥る。特に夕暮れ時は川面の夕日が鮮やかに広がり、大阪の下町情緒あふれる風景である▼ 前号で「大阪の魅力がはっきりとわからない」と書いたら、「失礼なことを言つた」とか「おっさんより魅力がいっぱいあるわ」などの苦情が相次いだ。なかには「ぶくぶく太りやがって！」などの訳のわからん誹謗中傷まで寄せられたので、今号では大阪の魅力を一生懸命思い出して書いてみた。ちなみにこの秋のサイクリングの予定は決まっていない。前回の渡船巡りで想像以上に疲れ果て、更に途中でタイヤをパンクさせてしまい、レンタサイクルのおじさんにこっぴどく叱られたからではないことを付け加えておこう。(玉)